

くすりのしおり

内服剤

2026年02月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ファモチジン OD 錠 10mg 「TBP」

主成分：ファモチジン (Famotidine)

剤形：白色の錠剤、直径 7.0mm、厚さ 3.2mm

シート記載など：(表) ファモチジン OD 錠 10mg 「TBP」、TBP262、10mg

(裏) FAMOTIDINE OD10mg 「TBP」、ファモチジン OD 錠 10mg 「TBP」、10mg



この薬の作用と効果について

胃の壁細胞にあるヒスタミン H₂ 受容体を選択的に遮断し、胃酸分泌を抑えます。

通常、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群の治療や、急・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変の改善に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群：通常、成人は1回2錠（主成分として20mg）を1日2回朝食後、夕食後または就寝前に服用します。また、1回4錠（40mg）を1日1回就寝前に服用することもあります。
急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変：通常、成人は1回1錠（主成分として10mg）を1日2回朝食後、夕食後または就寝前に服用します。また、1回2錠（20mg）を就寝前に服用することもあります。
- いづれも、年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・この薬は口腔内崩壊錠です。水またはぬるま湯と一緒に飲むか、舌で軽く押しつぶすようにして、唾液と一緒に飲み込んでください。ただし、寝たままの状態では水なしで飲まないでください。
- ・飲み忘れた場合は、気づいた時にできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は、1回とばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹・皮疹、蕁麻疹、顔面浮腫、便秘、月経不順、女性化乳房などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫（顔面浮腫、咽頭浮腫など）、蕁麻疹 [ショック、アナフィラキシー]
- ・全身倦怠感、脱力、皮下・粘膜下出血、発熱 [再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少]
- ・高熱、目の充血、皮膚の広い範囲が赤くなる [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群]
- ・全身倦怠感、食欲不振、倦怠感、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]
- ・筋肉痛、脱力感、赤褐色尿 [横紋筋融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。